

JCA会員の皆様へのご案内 6月号

- ・TVET DAY JCA会員様への取材
(6月15日、16日 プノンペンにて)
- ・チア・バンデット大臣 昼食会
- ・カンボジア通信



6月15日、16日 TVET DAY現地取材

6月15日と16日にプノンペン市内においてTVETDAYが開催されました。

今回はJVC様、NIE様、NEXT MAKE様のスタッフ、生徒さんにインタビューをさせていただきました。

1、JVC(光自動車様)-自動車整備士学校- 生徒さんへのインタビュー

☆日本のイメージは？

→日本の（会社）のイメージは職員や社員が丁寧で親切。優しく教えてくれそう。

☆日本に行きたいですか？

→もちろんです。

なぜならテクノロジーが進んでいるのと、会社で分からない事や仕事上でも困った事があった時に、丁寧に教えてくれそうだからです。

☆(日本から帰国後の)夢はありますか？

→あります！！

日本でたくさん学んで戻ってきます。そして自分の会社を開きたいです。カンボジアの人達の役に立ちたいです。役に立って喜んで貰いたいのと、たくさんのカンボジア人を雇いたいです。彼らの暮らしを豊かにしたいと

とても思います。



2、NIEI (イルヴリール様)-美容カウンセラー養成学校- 生徒さんへのインタビュー

☆美容カウンセラー学校はどうか？

→カンボジアにいる人達の中には、美容はメイクアップをする事のみだと思っている人達が少なくないと思います。

でも、美容は決してメイクをするだけではなくて、食べる物から肌は出来ますし、毎日の日々の生活に気をつける事でかなり変わってくることを、まだまだ知らない人が多いです。

そう言う事もこの美容カウンセラー学校は教えてくれます。

☆将来の美容産業はどうなると思いますか？

→（カンボジアに関しての私の意見ですが、）

いかにプロモーションするか、またはそのプロモーションをいかにカンボジアの人達が理解するかによりますが、美容にはとても時間がかかる事を技術者がまず理解することが大切。そしてそれを正しく伝えることが大事だと思います。技術者が綺麗である事。それを伝えているお手本となる事。そこからお客さまの意識を変えられて、伝わっていくとカンボジアにおいて、美容産業は発展していくと思います。

☆夢はありますか？

→自分自身のサロンを持つこと。

カンボジア国内に持ちたい。もっと大きく言うと海外（オーストラリア）に向けて出したい。

オーストラリアに興味がある理由は平和そうだからです。

☆日本の皆様に一言

→日本のサロンにはいつものマッサージやケアをするテクニックがあると思うのですが、それぞれどのような効果の違いがあるのでしょうか。それぞれの手法やテクニックの違いと言ったことにとっても関心があります。



3、AUPP(ネクストメイク様)-ITシステムエンジニア学校- 生徒さんへのインタビュー

☆日本のイメージは？

→技術がとても進んでいるイメージ

☆日本に行きたいですか？

→早く行きたいです。

日本のIT技術や文化を目の前で早く確かめてみたい。

そしてどんな日本の人たちがどんな価値観を持っているのかも聞いてみたい。

☆(日本から帰国後の)夢はありますか？

→帰国後は、日本とカンボジアの文化と技術で繋げたい。

既に日本の学生と交流があって、来月も日本の学生が

カンボジアに来て会います。ITを通じて、

もっと日本とカンボジアの文化を繋げる事に取り組みたい。

☆日本は魅力がありますか？

→とてもあります。

☆特に日本でチャレンジしたいこと

→日本の学生団体とより交流を深めて、若い目線で、

これからのIT業界に出来る可能性を話し合いたい。

あれこれ意見を出し合いたいです。



また別の日、JCAカンボジア事務所法人会員で技能実習生の方の送り出し機関をされているASAKURA ENTRUST CO,LTD様を訪れました。

様々な日本語学校や企業様があるのは存じていましたが、ASAKURA様は学生の皆さんの事を家族のようにとても大切にされている企業様でした。インタビューさせていただけて光栄でした。日本で働きたいとコツコツ日本語を学んで頑張る生徒さん。そして二人三脚で共に歩まれているASAKURAの職員の皆様。こちらに来て初めて知った素晴らしいお話をたくさん聞かせていただきました。ありがとうございました。

これからの日本は高齢化に伴う人材不足が多方面に渡り問題となっております。JCAの今年の主要戦略の一つに職業訓練を掲げております。今回はJCA会員企業で職業訓練に関連している企業をカンボジアで取材させていただいております。

日本にしながら、伝え聞いたり、ネット情報とは違う、現場での情報を会員の皆様にお届けできれば幸いです。

別の日にはJCA日本法人会員で技能実習生の方の送り出し機関をされているKAKEHASHI INTERNATIONAL BUSINESS様を訪れました。

到着して早々、聞こえてきたのは賑やかな生徒さんの声でした。

何をされているかと言うと。。。ボール送りゲームでした。生徒の皆さんはとても楽しそうに笑顔でゲームをしていました。これは、チームワークを養うトレーニングの一種との事でした。

今回ご対応くださったのは小川様です。小川さんは日本の企業様の価値観をととても尊重されていました。様々な価値観を持つのは当然で、まずはKAKEHASHIさんとしては、カンボジア人の特性を丁寧にお伝えし、まずは理解していただく。マッチングへの取り組みをととても丁寧に大切にされていらっしゃいました。

カンボジアやカンボジアの方にご関心をお持ちの企業様がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせいただければと思います。



今回カンボジアカウンターパート様取材させていただき、技能実習生のリアルな声を聞くことが出来ました。

カンボジアにおける技能実習制度（就労支援制度）の課題はいつくか考えられると思いますが、中でもやはり両国の異文化、習慣の理解、そしていかに日本語教育が充実しているかに大きく関わっているかと言うことを強く肌で感じました。

カンボジアの学生の皆さんの明るい未来の為に出来ることが必ずあり、叶えるために出来ることに共に取り組んで参りたいと思いました。

(文責：浅見)

6/20（金）17:00-18:00

第12回 日本カンボジア協会 総会を無事に終えたことをご報告いたします。

日本カンボジア協会では昨年度の活動報告、及び本事業年度の活動計画について、総会にて承認されたことをご報告いたします。

本事業年度は特に次の3点の事業を中心に、カンボジアの課題解決を伴う事業進出の支援をJCAプラットフォームにて実施してまいります。

- 1、農作物加工
- 2、職業訓練
- 3、デジタルパーク

また11月10日から11月12日の3日間で法人会員向けの第五回ビジネス投資視察団を実施する予定です。
ぜひご参加ください。



チア・バンデート大臣 昼食会

6月1日（日）、東京平河町のザ・キタノホテル東京にてチア・バンデート大臣と当協会会員限定の昼食会が開催されましたのでご報告いたします。

終始笑顔が絶えない和やかな雰囲気の中、非常に興味深い議論が繰り広げられました。

- ・カンボジア政府機関は、公的書面の積極的なデジタル化を目指し、迅速且つ偽造書類の書面の撲滅を目指す。
- ・プノンペン郊外に国立データセンター、世界最先端のデジタルパークセンターを建設。また、日本企業の積極的な参画に関するカウンターパートとして先ずJICAを指定。

バンデート大臣は来日前にアメリカ合衆国でスタンフォード大学やコロンビア大学等5つの大学を訪問し、ユニコーン企業を創出すべくデジタルパークセンターへの参加を呼び掛けたそうです。JICA会員にも是非手を挙げていただきたいと仰っていました。

参加された三井物産様より『チア・バンデート大臣と直接お話することができ、とても有意義な時間でした。弊社が出資参画する携帯事業会社Smartを通じて、カンボジアのデジタル発展に微力ながら寄与していきたいという想いを新たに致しました。加茂シェフの料理は筆舌しがたい美味しさでした。会場、料理の選定にも御礼申し上げます。』と感想をいただきました。

ザ・キタノホテル東京総料理長加茂健氏によるフレンチ料理は、カンボジアの食材も使用されており、昼食会に彩りを添えてくれました。引き続き、カンボジア政府機関との連携強化にも努めてまいります。

（文責：中間）



[カンボジア通信](#)



一般社団法人 日本カンボジア協会事務局

発行人：浅見摩紀

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目16番6号 虎ノ門RAPO-TOビル UCF7階

問合せ先: info@japan-cambodia.or.jp

ホームページ: <http://japan-cambodia.or.jp>